

Talkin' Africa & Charity Bazaar

トーキンアフリカ & チャリティーバザール

新潟に縁のある方々とアフリカについて考えてみよう！世界を感じるフリーマーケットもやって来る！

11 / 2021
21 (日)

入場無料
Entrance Free

open 10:00 - close 16:00

会場 ※来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください

アオーレ長岡 ホワイエ
City Hall Plaza Aôre Nagaoka Foyer
(新潟県長岡市大手通1丁目4-10)

WEB サイト
はこちらの
QR コード
から！！



【トーキンアフリカ】
～アフリカについて考えてみよう～

松下照美 ケニアからのお願い
長岡技術科学大学
県内在住のアフリカ出身者
JICA 海外協力隊経験者

& more

【チャリティーバザール】

アフリカのパン、世界各国の雑貨、
古着など

主催：新潟県青年海外協力協会
共催：アフリカンフェスタ！ in ながおか実行委員会
協力：JICA 東京
後援：新潟県国際交流協会、長岡市、長岡市教育委員会

【お問い合わせ】

JICA 新潟デスク 宮 由衣

TEL: 090-4024-1323 Email: jicadpd-desk-niigataken@jica.go.jp

【ご注意 感染症対策について】

- ・当日出発前に、必ずご自身の体調確認をお願いします。発熱、風邪症状、味覚や嗅覚の異常などがある場合、ご来場をお控えください。
- ・新型コロナウイルス陽性と診断された方、濃厚接触者として自宅待機の指示を受けている方、濃厚接触の疑いのある方はご来場をお控えください。
- ・会場内では常時マスクをご着用いただけます。マスクの着用を拒否されるお客様は入場をお断りさせていただきます。
- ・入場口にてすべてのお客様に検温・手指の消毒を行っていただきます。お帰りの際も手指消毒の徹底をお願いいたします。

トーキンアフリカ Talkin' Africa

TIME TABLE

10:15 松下照美 講演会 (写真①)

『子どもたちの家』存続に向けてーケニアからのお願い

A message from Kenya: How to continue our support for children.

11:00 松風チャレンジ報告会 (写真②)

綺麗な水を大量に飲ませてあげたい。

I want to share clean water with people in Africa.

11:20 長岡技術科学大学 (写真③)

モヨ・チルドレン・センターにおける水の浄化システムについて

Reports of setting up a water purify system in Kenya.

12:00 African Report Session

松下照美 × 井上松風 × 長岡技術科学大学研究チームなどに、お客様の飛び入り参加も大歓迎！アフリカの子供たち支援について考えてみませんか？

13:00 県内在住のアフリカ出身者による文化紹介

JICA 海外協力隊経験者による活動報告



Alioune Badara Samb さん セネガル出身
「DIVE INTO SENEGAL: COUNTRY OF "TERANGA"
(「おもてなしの心」の国)」



安部 裕太朗さん
ベナンで小学校教育に従事



Rendzinna Dolly Cassim さん ケニア出身
「The Kenyan Chapter」



涌井 和美さん
ガーナで服飾に従事



Brice Ali さん ルワンダ出身
「アフリカの軌跡 ルワンダ」



篠田 敏規さん
ケニアでエイズ対策に従事

15:00 NERICA 米を通じたアフリカ食糧支援報告

佐渡の高校からザンビアへ！

池亀 元喜さん (JICA 教師海外研修経験者 / 新潟県立佐渡総合高等学校)
木島 史暁さん (JICA 長野デスク 国際協力推進員)

15:30 African People and JICA volunteers Session

新潟在住のアフリカ人 × JICA 海外協力隊経験者のアフリカトーク！

もちろん、お客様の飛び入り参加も大歓迎です。お気軽に質問・コメントをどうぞ。

16:00 閉会



(写真①)

松下照美 (モヨ・チルドレン・センター会長)
/ Matsushita Terumi (Director Emeritus
of MOYO Children Centre)

1945年徳島県生まれ。1994年に小林茂監督と共に訪れたウガンダでアフリカの子供たちに魅了され、1999年にケニアで国際NGO「モヨ・チルドレン・センター」を設立し、20年以上にわたり現地で子どもたちの生活・教育支援を行って来ました。2020年に病気のため帰国し、日本で治療をしながら、活動を続けています。

モヨ・チルドレン・センター

- ・「子どもたちの家」運営 (男子6~17, 19名入居)
- ・「有機農法を通じたストリートの子どものドラッグリハビリ」運営 (3名入居)
- ・小学校の給食支援 (37名)
- ・学費支援 (高校生、HIVエイズ、身体・知的障がいを持った子どもたちの支援を含む)

※上記の活動を中心にケニアの大学生の実習生、日本の実習生、スタディ等の受け入れも行っていきます。



(写真②)

井上松風くん (小千谷市 小学四年生)
/ Inoue Matsukaze (4th grade at
elementary school in Ojiya City)

泥水を飲んでいる赤ちゃんがいるなんてとても悲しかった。水は、沢山あると思っていた。川にもあるし、水道もあるのに。でも世界を見たら違った。どうすればみんな綺麗な水が飲める？その答えがこの募金活動でした。



(写真③)

長岡技術科学大学
/ Nagaoka University of Technology

ケニアをはじめとするアフリカ諸国では安全な水へのアクセスが大きな課題です。モヨ・チルドレン・センター・ドラッグリハビリ農園のあるマゴゴニ地域では安全な水のみならず、安定した電気の供給も行われていません。私たちの研究グループは、長岡で培った高度水処理技術を応用してモヨ・チルドレン・センターに太陽光パネルのみで稼働できる浄水装置を設置し、約2年間運転しています。

チャリティバザール Charity Bazaar

※ 出店料、収益の一部をモヨ・チルドレン・センターに寄付します。
A part of the proceeds will be donated to MOYO Children center.

新潟県青年海外協力協会、JICA 海外協力隊経験者、アフリカンフェスタスタッフなどによる出店。

アフリカンベーカーリー・ナミテテとエミタイのパンや、派遣国ゆかりの雑貨をはじめ、日用品や古着、子ども服、世界の音楽CDなどを特価販売！



※イベント内容は変更となる場合がございますのでご了承ください。

